NIE実践報告

1．タイトル：社会的なテーマを取り上げた「総合的な学習の時間」に有効的な新聞活用

2．学校名

神奈川県川崎市立虹ヶ丘小学校

3．実践者名（代表者名）

中島　克己

4．学年

第6学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

総合的な学習の時間　28人

6．単元（本時の学習課題）名

「未来の地球のために~　今知っておきたいこと　~　」

7．目標(狙い)

環境やエネルギー等、社会問題となっている様々な事実や関係するもの、こと、人を通し、環境問題を身近な生活の中で意識していく気もちや自分から伝えていくことができるものをもつ。

8．評価の視点

社会問題となっている環境やエネルギー等をテーマに自分の学習課題をもち、課題追究、解決する中で、自分にできることを考えたり、実践したり、これからの生活の中で意識できるもの、発信できるものをもつことができているか

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「総合的な学習の時間」の中の学級プラン80時間の中で、新聞を学習材として取り組む時間が8時間。そのほか、各自で新聞を活用したり、新聞社の取り組みに参加したり、常時課題追究過程の中で取り入れていく。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

●新聞記事を活用した学びの場
・新聞記事から環境やエネルギーについて考えよう①
・テーマに関する新聞記事を継続的に集めよう
・新聞記事から環境問題について考えよう②
・新聞記事から環境問題について考えよう③
●新聞記者になって企業の環境対策について取材し記事を書く
・かながわこども記者クラブ（神奈川新聞社）
・エコプロこども新聞（日本経済新聞社）
（留意点）
・本単元の長期的な学習展開の中で、個々の課題追究、解決に新聞を積極的に活用している児童の取り組みを支援すると共に、学習のテーマ上、共有しておきたい言葉、内容については、授業の中で全員に記事を提供し、全体での理解を深める。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

今、社会問題となっているテーマでの取り組みもあり、多くの情報が載っている新聞への関心が高まり、外部から依頼されたアンケートを実施したところ、「新聞を活用した授業を通して自分がどのように変わりましたか」という記述式の問いに対しては、「新聞をよく読むようになった」「意識して目を通すようになった」

12．成果と課題

「かながわこども記者クラブ」と「エコプロこども新聞」で、本物の新聞記事を書いたというこの2回の経験は、本人達だけでなく、学級全体に大きな刺激と新聞に対する関心の高まりを生み出すことになった。

新聞のある環境をつくり、ふれることや学習に活かしていくのと同時に、新聞社主催の取り組みを活かし、新聞記者となって本物に近い体験を積むことが、新聞に対する関心を高め、その関心が、新聞を読むことにもつながっていった。また、総合的な学習の中に新聞を取り入れたこと、さらにその学習テーマが社会的に今注目されているテーマであったこともあり、新聞の活用が効果的であったと考えられる。